



MODEL : OM-40S FLUID MEISTER

フルードマイスター

- 液面が下がると電動ポンプで自動補給、上がると液面センサーで自動停止します！
- マグネットフィッティング付きの供給ノズルは、フレキシブルパイプにより車種を問わずセット可能！
- 入れすぎたフルードの吸引機能（ポンプ逆転）付き！



セット例
※セット状態写真のマグネットフィッティング部は、改良のため若干形状が変更されています。ご了承下さい。

ついに登場！液面センサー付き、電動ブレーキフルード自動供給器。

適用

軽自動車～大型車のブレーキフルード補給

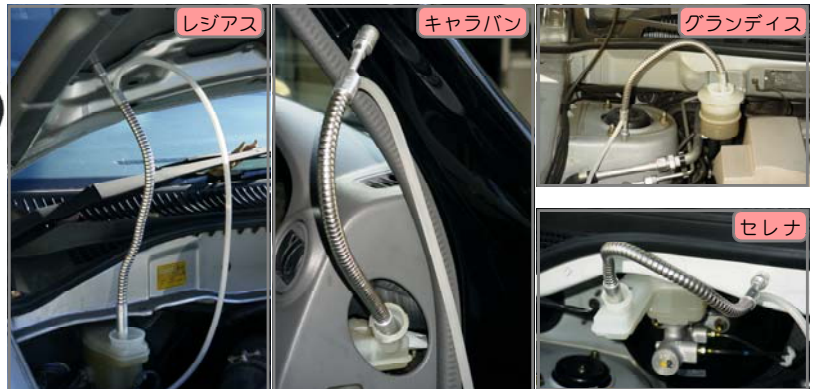
仕様

- 電源：DC 6V（単1乾電池4個使用、別売）
- センサー部：光学式液面センサー
- ポンプ：DCモーター 一体型ギアポンプ
- 吐出量：約450cc/min（電池新品時）
- タンク容量：3リットル
- 重量：約1.7Kg（乾電池4個含む）
- サイズ：280mm×250mm×130mm
- 供給ホース長：2m

❗ 屋外の日光が照射する環境では、液面センサーが誤作動することがあります。その際は、ウェスなどでリザーバー周囲を包み、日光を遮ってください。

使用方法

- (1) 作業に必要なだけの、新しいブレーキフルードをタンクに入れます。
- (2) フルード交換の場合は、スポイトなどで古いフルードを吸い取ります。
- (3) 車両の金属部分に、傷を付けないようマグネットフィッティングを取り付け、フレキシブルパイプを調整して、ノズル先端部をリザーバータンク内に入れます。液面検知位置は、ノズル先端ではなく切り込みミゾの終端です。マックスレベル付近に合わせてください。
※フレキシブルパイプは、180度以上無理に曲げないでください。
- (3) スイッチをON（前方へスライド）にします。（パイロットランプ緑、赤両方点灯）新しいフルードが供給され、適度な液面レベルで停止することを確認してください。（パイロットランプ赤消灯）
※センサーは汚れに敏感で、誤作動を起こすことがあります。作業初めは、センサーが液面を感じて、供給が停止することを確認するまで、すぐにOFF（中央位置）できるようスイッチに指を掛けておいてください。
※車種によっては、リザーバータンク内の仕切板が高い位置にあり、液室によって均等に液面が上がらない物があります。（キャラバンなど）その場合は、ノズルのセット位置をマックスレベルよりやや上にして、供給状態をよく確認してから、作業に入ってください。
- (4) 作業終了後、リザーバーの液面がマックスレベルを超えている場合、スイッチをREV（後方へスライド）にして、オーバー分を吸引できます。 ※汚れたフルードは、吸引しないでください。



◆◆◆◆◆ 使用上の注意事項 ◆◆◆◆◆

- ❗ ブレーキフルード以外の液体使用や、他の用途での使用はしないでください。電池交換、フルード補給以外の本体内部分解、改造は禁止します。
- ❗ 本タンクは、完全密閉されていませんので、フルードの保管には適しません。ゆすったり、倒れると、フルードが漏れますのでご注意ください。
- ❗ 汚れたフルードに、吸引機能は使用しないでください。吸引側にはフィルターがありませんので、内部のギアポンプが破損します。
- ❗ センサー部は特に汚れを嫌います。誤作動の原因になりますので、適時きれいなブレーキフルードですすぐなどのクリーニングをしてください。
- ❗ タンク内のフィルターは、適時エアアなどクリーニングしてください。汚れのひどい場合は、補修部品と交換してください。
- ❗ 乾電池は徐々に電圧が弱まります。供給が追いつかなくなったら交換してください。当社実測では、アルカリ乾電池での35時間連続作動で、吐出量が300cc/minまで低下します。センターの誤作動原因にもなりますので、早めの交換をおすすめします。

発売元：株式会社ハスコー 営業本部 〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町 3-6-45
TEL (048)461-0101 FAX (048)461-1177
製造元：林精鋼株式会社 URL <http://www.hascotools.co.jp/>